

環境方針



ISUZU

いすゞ地球環境シンボルマーク

いすゞは地球環境保全への取り組みを、21世紀に向けた重要課題の1つと位置づけ、世界の経済発展と環境保全の調和をめざして積極的な活動を展開しています。

1990年8月に「いすゞ地球環境委員会」を発足させ、1992年5月には地球環境保全への基本的取組方針として『いすゞ地球環境憲章』を制定するとともに、“人と地球の未来のために”をキャッチフレーズとしたシンボルマークを定めました。

企業理念

私たちは世界中のお客さまに心から満足していただける商品とサービスを創造し社会に貢献するとともに人間性豊かな企業として発展します。

いすゞ地球環境憲章

地球環境への取組み方針

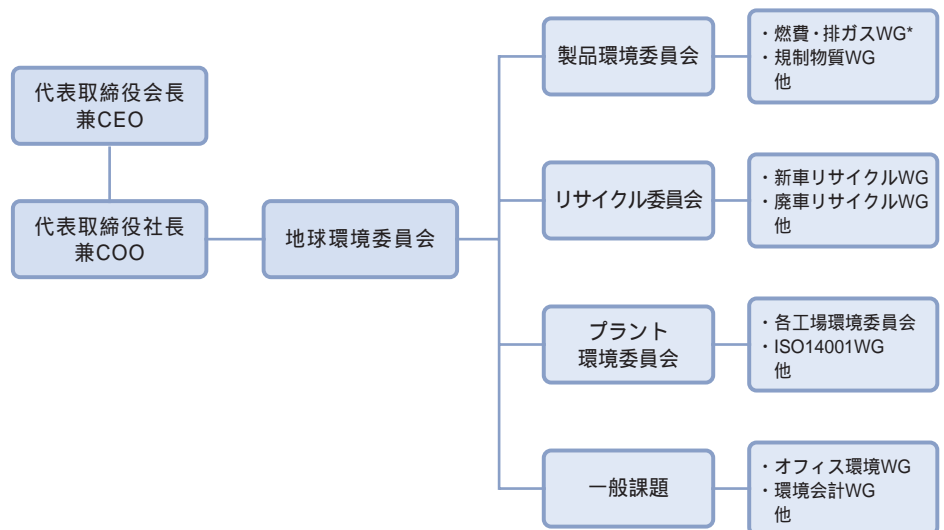
1. 車の生産から使用・廃棄に至る一生涯を通して、環境保全のために積極的に取組みます。
2. 私たちの子孫に美しい地球を残すため、事業活動を通じてだけでなく、地球に暮らす市民として、社会や地域の環境保護活動に積極的に取組みます。

行動指針

1. 車の生産工程において、エネルギー消費を少なくし、排出物を極力抑え、環境の保全に取組みます。
2. 車の使用過程で発生する排出ガス、騒音等について、開発・生産を通じて低減に取組みます。また、物流システムの開発を通じ、合理的物流を考え、環境保全に努めます。
3. 資源は有限であることを前提に、いつまでも長く愛していただける車を提供することを目指し、また、廃棄過程でも再利用しやすい車にするため、リサイクルの考え方に徹底して取組みます。

組織と体制

いすゞの環境保全に向けた取組体制は次の通りです。



*WG：ワーキンググループ

いすゞは全社的な環境取り組みを推進するために、「地球環境委員会」を中心に、車のライフサイクルすべての段階で環境に配慮した車づくりを進めています。

地球環境委員会は環境担当役員が主座となり、各部門を代表する委員(役員)で構成され、環境の重要課題について方向づけと進捗フォローを行い、全社的活動の促進を図っています。地球環境委員会の下部組織として、「製品環境委員会」、「リサイクル委員会」、「プラント環境委員会」の3つの委員会を設け、地球環境委員会の方針に沿って環境保全活動に取り組んでいます。

ISO14001への対応

いすゞは企業活動に伴う環境負荷を低減し環境管理における企業体質を強化するために、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の導入をスタートしました。

今後は、製品設計など幅広い事業活動を対象に、ISO14001の導入を計画していきます。

目標	施策
いすゞの国内全4工場・海外主力工場、開発部門で環境マネジメントシステムを構築し、ISO14001の導入を推進します。	まず国内工場を優先して、ISO14001の認証取得を推進します。

実績
 ISO14001の認証取得状況
 国内においては、3工場が認証を取得済みで、1999年度中には全4工場で取得が完了する予定です。



国内外工場のISO14001認証取得状況

1998年 5月	北海道工場
1998年 11月	米国SIA工場
1999年 5月	川崎工場
1999年 9月	藤沢工場
2000年 3月(予定)	栃木工場

海外の主力工場では、米国SIA(スバルーいすゞオートモティブインク)工場が1998年11月に認証を取得しています。今後はポーランド工場(いすゞモーターズポルスカ)、タイ工場(泰国いすゞ自動車)で順次取得していきます。